

「生きづらさを抱える若者たち」 ～日英の専門家の対話～

参加費
無料

令和2年2月23日（日）

午後1時30分～5時20分（予定）

関西学院大学 大阪梅田キャンパス 10階1004教室

【案内板掲示名】日英若者問題研究会



住所：北区茶屋町19-19

ゲストスピーカー

元Youth Employmentスタッフ

現ジャーナリスト **ワエル・アル・アベド 氏**

学校をやめ様々な職業を経験してきたLaura-Jane Rawlings（現CWO）が、同じような待遇の若者を支援するために2012年に企業した「ユース・エンプロイメント」にて、政策と調査を担当。政治家と対話し、若者にとって現在どのようなことが問題になっているかを伝えてきた。現在は、ジャーナリストとして活躍。

公益財団法人 京都市ユースサービス協会

チーフユースワーカー **米田 光晴 氏**

若者の成長を手助けする専門スタッフ「ユースワーカー」として活躍。ユースワーカーは、イギリスを始めヨーロッパ各国で養成に取り組んでおり、国家資格となっている国もある。京都では、2006年から大学院での養成プログラムを始めた他、ユースワークを担う人材を育てる、独自のユースワーカー資格取得のプログラムも始めている。

司 会 NPO法人しゃらく **小嶋 新 氏**

参加費：無料

対 象：社会福祉に興味のある方
市内在住・在勤在学の方
（若者支援について取組んでおられる方、
学んでおられる方にお勧めです。）

定 員：30名
（先着順・ご参加いただけない
場合のみ連絡します。）

主催・お問合せ・申込先

大阪市社会福祉研修・情報センター
（運営主体：大阪市社会福祉協議会）

電話 06-4392-8201

FAX 06-4392-8272

メール kensyu@shakyo-Osaka.jp

お申込みについては、裏面をご覧ください。

【内容】

第一部

英国の若者の現状・社会的企業の事例について
日本の若者の現状
京都若者サポートステーション事業について

第二部

日英の専門家の対話

英国でのキャリアアドバイスの状況、企業や政治への働きかけの仕組みについてワエル氏に、京都サポートステーションでの若者支援について米田氏に語っていただきます。

第二部では、日英の専門家の対話で「生きづらさを抱える若者たちの課題」について、さらに掘り下げます。

☆必要事項をご記入のうえ、2月20日(木)までに、ご持参・郵送・FAX・メールなどでご提出ください☆
FAX 06-4392-8272 メール kensyu@shakyo-osaka.jp

自宅・所属先 いずれかに○をしてください。	住所(〒)			
	所属先名:			
	電話		FAX	
お名前	ふりがな		職種や活動内容	
ご希望	車いす使用の方、拡大文字資料・手話通訳・要約筆記が必要な方は3週間前までにお申込みください。			
ご質問	当日の進行を円滑にするため事前にお聞かせください			